

平成29年度 部局長マネジメント方針

教育長 つちや 土屋 ほうど 宝土



私の決意

平成29年度は私にとって就任2年目の年度となりますが、これからの本市の教育にとっていくつかの重要な取組みの起点となる年度となります。

まず、平成31年度から本市のすべての中学校区で実施する小中一貫教育については、昨年度中にそれぞれの中学校区において行う取組みの内容を決定しました。重点的な実施項目として ①9年間を通した教科教育課程の作成・実施 ②6年生の中学校登校 ③「未来市民教育の実施」をあげており、平成29年度から各学校で先行的な取組みを開始し、その結果を検証しながら平成31年度の本格実施に向けて着実に歩みを進めてまいりたいと考えています。

二つ目は大阪府下でも遅れていた中学校給食の実施について、全員喫食を前提に平成31年度から開始し平成34年度にはすべての中学校で給食を実施することとして、平成29年度から計画的に事業を進めていくこととしました。約12,000人を数える中学生のすべてに安全で栄養のバランスのとれた給食を実施していくことは多くの準備が必要となりますが、一つ一つ課題をクリアしながら安定的に給食が実施できるよう取り組んでいきたいと考えています。

三つ目は暑さ対策としての小学校普通教室への空調設備の導入です。本市においてはこの間、中学校には普通教室も含めて空調設備を整備し、小学校ではドライミストの整備を中心に暑さ対策を行ってきましたが、この間の夏の厳しい暑さに対処するためには普通教室への空調設備の導入は避けられないものと判断し、平成31年度においてすべての小学校において導入が完了するよう平成29年度から事業に取り組んでまいります。

教育を巡る環境の変化はめまぐるしい一方で、厳しい財政状況とのバランスの確保にも配慮しながら、今後においてもより良い教育の実施を第一に取り組んでまいりたいと考えております。